上手な薬用シャンプーの使用法

動物病院で処方される薬用シャンプーは、美容のためではなく、治療のために使用します。
そのため、通常のシャンプーとは使用法が少し異なります。
上手に使用して、薬用シャンプーの効果を最大限発揮できるようにしましょう。

① まず、全身をぬるま湯（25℃～３５℃くらい）で濡らします。

② 薬用シャンプーを手のひらにとり、（毛ではなく）皮膚にすりこんでいきます。
このとき、いちばん症状がひどい場所からつけていくと良いでしょう。
薬用シャンプーは泡立ちにくいので、つけ過ぎてしまわないようにしましょう。

使用量の目安・・・猫・小型犬：10 ～ 20 ｍｌ
中型犬　　：20 ～ 40 ｍｌ
大型犬　　：40 ～ 80 ｍｌ

また、眼や耳に入らないように十分気をつけましょう（顔は洗わない方が無難です）。

③ このまま、10～15分おきます。この間に薬用成分が皮膚に浸透します。

④ ぬるま湯で、よくすすぎます。今度はシャンプーが残らないように気を付けましょう。
症状がひどい場合には、２度洗いも効果的です。

⑤ なるべくドライヤーを使わず、タオルで水分をよく拭き取りましょう。
何枚かよく乾いたタオルを用意しておき、水分をきちんと拭いてあげてください。
どうしても乾きにくい場合は、タオルの上からドライヤーをあてるとよいでしょう。

重要なポイントのまとめ

- ぬるま湯を使う
- 眼や耳には入れない
- シャンプーをつけて、１０～１５分おく
- すすぎはしっかり
- ドライヤーは使わない

お問い合わせは・・・ 本郷どうぶつ病院　長野県長野市三輪９－７－９
TEL（０２６）２４１－７５７６